

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	物流・産業	29年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 事業推進課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	金城ふ頭における完成自動車輸送機能の集約・拠点化事業	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7921 計画担当
目的	対象(誰・何を)	大型船による完成自動車輸送機能			事業 期間	平成26~令和3年度
	意図(どういう 状態にしたいか)	金城ふ頭に集約・拠点化し、荷役の効率化を図ります。				
概要	整備場所:金城ふ頭 内容・規模:非効率な荷役形態の改善及び船舶の大型化への対応を図るための、施設利用の再編に合わせた、水深12mの国際物流ターミナルの整備 全体工事費:182億円 事業手法:直轄事業、起債事業				根拠 法令等	社会資本整備重点 計画法 名古屋港湾計画
事業着手時点の 評価	本事業を実施することにより、大型船による輸送が可能となり、輸送コストが削減されます。また、機能集約により完成自動車のふ頭間横持が解消し、輸送費用が削減されます。 費用対効果は、ふ頭再編改良事業全体で3.3です。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
30年度の実施予定	新たな水深12mの岸壁(1・2突間)及び背後の埋め立てに関する手続きを進めます。また、手続き完了後は国が岸壁新設工事を実施し、その内容について協議を行います。				関連 シート	

2 DO(実施)

30年度に実施した 内容・結果	新たな水深12mの岸壁(1・2突間)及び背後の埋め立てについて、埋立免許を取得しました。また、国が岸壁新設工事を実施し、その内容について協議を行いました。					
コスト	単位	28年度	29年度	30年度	合計(27年度~)	備考(費用の増減理由等)
工事費	千円	(588,000) 264,600	(2,293,000) 1,031,850	(3,150,000) 1,417,500	(6,131,000) 2,758,950	
人件費	千円	14,962	2,941	2,950	23,172	
合計	千円	279,562	1,034,791	1,420,450	2,782,122	

3 CHECK(検証)

指標名	28年度	29年度	30年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
新規岸壁整備(-12m) 等の事業進捗状況 (全7工程) (進行管理型)	目標	2	2	4	4(累計)	金城ふ頭1・2突間の埋立を伴う新規岸壁整備等の工程のうち、完了した工程数を合計します。 (①港湾計画の変更、②事業採択、③環境アセスメント、④埋立免許、⑤埋立護岸整備・岸壁整備、⑥泊地整備、⑦ふ頭用地整備)	
	実績	2	2	4	4		
事業進捗状況(30年度)		順調・やや遅れ・遅れ					
指標名	28年度	29年度	30年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗状況(全4工程) (進行管理型)	目標	2	4	4(累計)	4(累計)	金城ふ頭84号岸壁の改良事業の工程のうち、完了した工程数を合計します。 (①港湾計画の変更、②事業採択、③岸壁改良、④泊地整備)	
	実績	2	4	4	4		
事業進捗状況(30年度)		-					
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	84号岸壁の改良については平成30年2月に完了し、新たな水深12mの岸壁整備については、埋立免許願書を平成30年11月に取得し同年12月より現地着手しており、予定通り順調に事業が進捗しています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○ 自動車運搬船の大型化が進んでいるほか、完成自動車取扱機能の集約・拠点化が可能となることから、必要性は高いと考えております。					
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 金城ふ頭における完成自動車輸送の効率化は、上位施策の「国際・国内海上輸送機能の強化」に資すると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	- 本事業は施工中であるため、評価の対象としておりません。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ コストが最小になるよう精査して事業を進めています。					

4 ACTION(取組)

5年間の状況	課題	令和元年度以降の取組	重点施策として位置付け継続
順調	完成自動車の取扱基地の分散による非効率な荷役形態の改善や、船舶の大型化への対応を図るため、着実に実現する必要があります。	関係者調整を行いながら、重点的に進めていきます。	